

二葉中学校区・舟栄中学校区内

小学校

地域検討会たより

第5回検討会(1月25日開催) 協議内容報告

前回の検討会で、統合小学校の場所については栄小学校とし、入舟小学校を栄小学校の増築工事終了までの仮校舎として利用する案でまとまりました。今回の検討会では、それぞれの小学校やコミュニティ協議会において行った地域、保護者の皆さんへの説明会・意見交換会の報告を受けたのち、課題として残っていた統合の時期や方法などについて協議しました。

第5回小学校検討会までに確認された方向

- 1 豊照小学校・湊小学校・栄小学校・入舟小学校の4校を統合する
- 2 統合の方法は、同時に4校を閉校し、新しい学校としてスタートさせる。
- 3 統合の時期は、平成27年4月を目標とする。
- 4 統合小学校の場所は、現在の栄小学校とする。
- 5 現栄小学校の教室不足を補うための工事期間中は、入舟小学校を仮校舎として利用する。

説明会・意見交換会(下記の概要参照)では、統合の方法、統合校舎の位置などについてご意見をいただきました。少数ではありましたが統合そのものに反対する意見、統合の時期や方法、現栄小学校校舎を統合小学校校舎とすることに異議を唱える意見などもありました。しかし、これからの子どもたちや地域全体のことを考慮に入れ、検討会として総合的に判断した結果が上記の5つの方向です。

次回の検討会では、今回でまとまった方向性を踏まえて、検討会としての提言をまとめることになりました。新しい小学校が、地域と子どもたちの未来に夢と輝きをもたらす学校となるよう、提言に盛り込む内容についてお考えやご意見がありましたら、お近くの検討委員までお知らせください。

説明会・意見交換会の概要

【豊照小学校 (12/15)】

統合に反対の意見もありましたが、4校統合の方向については賛同を得ました。

しかし、その時期や方法についてはいくつかの意見が出され、再度、保護者の意見を聞くことになりました。

【豊照小学校 (12/25)】

仮校舎での統合に反対する意見が出されたものの、大勢として豊照小は4校同時の統合を望むことでまとまりました。

【栄小学校 (12/15)】

仮校舎に移ることに少し不安はありますが、できるだけ早期に4校の同時統合を望みます。

【湊小学校 (12/16)】

湊小としては、時期を重視しており、できれば最短の準備期間での統合が実現できるように望みます。

【入舟小学校 (12/16)】

保護者からの意見をまとめると、次の2点になります。

- ・児童数が多い入舟小に統合校が来るものと思っていたので、意外で驚いています。
- ・入舟小も児童数の減少により危機感を持たねばならず、早期の統合を望みます。

参加された地域の方からは、次のような意見が出されました。

- ・統合校舎が栄小になった理由は希薄であり、入舟地区として納得できない。

【入舟小学校区コミュニティ協議会 (1/14)】

入舟地区として統合の方向に反対するものではない。しかし、統合校舎を現栄小学校としたことについては賛否があった。納得できないとの声があったことを明記しておくべきとの意見が出された。

【湊校区コミュニティ協議会 (1/15)】

湊地区の総意としては、子どもたちの教育環境を考えると複式学級の解消が必要であり、そのための方策として湊小学校の早期の統合を望む。

【栄小学校区コミュニティ協議会 (1/18)】

子どもたちにとってのより良い教育環境を実現するため、早期の4校同時統合を望む。

【豊照地区コミュニティ協議会 (1/19)】

子ども優先で結論を出してほしいと考えており、検討会の方向を支持する。できるだけ子どもに負担のかからないように配慮をお願いする。

第6回二葉中学校区・舟栄中学校区内小学校地域検討会

日時 2月14日(木) 午後7時～ 場所 二葉コミュニティハウス

議題 豊照小・湊小・栄小・入舟小の4校統合に係る提言(案)について

※この検討会は、地域の皆さんに公開しています。

地域の皆様へ

「想い」が集まる地域の学校を

二葉中学校区・舟栄中学校区内小学校地域検討会会長 中山大介

二葉中学校区・舟栄中学校区地域検討会が設立され1年を迎えるこの機に、その趣旨を振り返るとともに、これからの子どもたちと地域への想いを込め、所感を述べさせていただきます。

今般の統廃合を考える上での第一義は、もちろん4地域の子供達全員の教育環境が将来にわたって平等に改善することです。現実的方向性の検討には、もちろんお金(費用)や立地条件、現状の校舎の設備・規模はとても大事な要素です。しかし、ここに忘れてはならない「大切なこと」があると、様々な話し合いの中で気づかされました。

それは、これから出来る新しい学校を「4つの地域すべての人」が、愛し支えていこうという「想い」を作り出すことです。この会を通して私は、今現在、この愛すべき郷土新潟市の中心部・「しも」の地域にはとても素晴らしい6つの学校があり、各学校を教職員、PTA、OB、そして4つの地域住民が、それぞれ一生懸命に支えていることを再確認しました。小中ともに「統合」の方向に進んでいますが、ここに至るまでには、皆様が4つの地域全体の子供達を思い、「苦渋の決断」をされてきたのだと痛感しております。抽象的かもしれませんが、だからこそ、「新しい学校づくり」のためにはどうしても「夢や希望、そして思い遣り」が必要だと感じたのです。

以前「良い学校とは何ですか?」と、ある委員の方から問われました。議論を重ねる中で、その問いに対する私の答えを得ました。それは、生徒も先生もPTAも地域の方々も皆が「良い学校、良い教育って何だろう?」と常に「考え続けている」学校です。「良い学校」をつくる努力は、統合して終わりではありません。まさにそこから始まる、不断の関わり合いです。学校とは、この地域皆の未来・将来を担う子供達が毎年毎年その学校の門をくぐって、いかに地域社会への貢献と自らの夢を一つに紡いでいくかを学ぶ場だと考えるからです。その意味から、今、行っている検討会の議論が、必ずや子どもたちと地域の未来へ光を与えるものと確信しております。

早期統合を訴えて参りました私自身、閉校に至る決断と今後の新学校開校に向けての責任の重さに、ことあるごとに身の引き締まる思いと畏れを感じております。何卒、今後とも当検討会に対しご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

1月吉日

問い合わせ先：新潟市教育委員会教育総務課企画室（二葉中学校区・舟栄中学校区内小学校地域検討会事務局）

(TEL:025-226-3178 FAX:025-230-0401 E-mail:somu.ed@city.niigata.lg.jp)

当日の配布資料や検討会たよりなど関連事項は、後日、新潟市のホームページに掲載いたします。